

資料提供		
平成 21 年 10 月 27 日		
担当課 (担当者)	(財)鳥取県教育文化財団美和調査事務所 ( 濱田 竜彦 )	文化財課 ( 高尾 浩司 )
電 話	0857-51-7553 / 090-8243-4148	0857-26-7525

## 本高弓ノ木遺跡(鳥取市本高)の現地説明会を開催します

(財)鳥取県教育文化財団では、鳥取県教育委員会から受託した一般国道9号線(鳥取西道路)の改築事業に伴う発掘調査を今年度から実施しています。この現在調査中の本高弓ノ木遺跡の現地説明会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

### 1 現地説明会

- (1) 日 時 平成 21 年 10 月 31 日(土) 午後 1 時 30 分から(小雨決行)
- (2) 場 所 鳥取市本高地内 本高弓ノ木遺跡 駐車場有(約 60 台)
- (3) 問合先 (財)鳥取県教育文化財団 調査室 美和調査事務所(担当：濱田竜彦)  
電話 0857-51-7553 ファクシミリ 0857-51-7550
- (4) 内 容 発掘現場見学会(当日は実際の発掘作業もご見学いただけます)  
出土品・パネル展示(木製品や土器などを展示)  
古代体験コーナー(古代の火おこしが体験できます)



### 2 調査の概要

- (1) 調査面積 7,350 ㎡
- (2) 調査期間 平成 21 年 5 月 27 日～12 月中 (予定)
- (3) 注目すべき調査成果

① 奈良時代以降 (既に調査を終了。説明会では写真パネルを展示します)

#### 水田跡 奈良時代(8世紀)～平安時代(12世紀)

- ・水田の畦は地形にあわせて設置されており、整然とした区画を形成していない。奈良時代には条里制により、全国的に整然と区画された水田が造られるようになるが、**本高弓ノ木遺跡の周辺には、まだ条里地割が導入されていないことが確認できた。**
- ・畦の痕跡のほか、牛の足跡などを検出。当時、**牛を利用した耕作が行われていた**ことを裏付ける。

② 古墳時代 (現在、調査中。説明会で見学していただきます)

#### 溝と池 古墳時代前期(4世紀)

- ・出土する土器から、4世紀代に使用されていたと考えられる(4世紀末には埋没)。
- ・水の流れを調整するための盛土遺構や木製構造物を伴う。**土を盛る際にムシロ状の敷物やスギ皮を敷き込む構築方法を確認。当時の土木技術の水準を具体的に知ることができる希少な遺構。**
- ・柱などの各種建築部材、槽などの木製容器が出土。**いずれも4世紀末に時期を絞り込める一級の資料。**良好な保存状態は、青谷上寺地遺跡から出土した弥生時代の木製品を彷彿させる。**製作途上の未製品もあり、当遺跡で木製品の製造が行われていたことも分かる。**

\*10月28日に古代の木製品や土木構造物に詳しい工楽善通氏(大阪府狭山池博物館館長)が来跡。午後1時頃から、溝と池に伴う盛土遺構や木造構造物がどのような目的で造られたものなのか検討を行います。

③ 弥生時代以前(11月以降に調査を実施予定)

- ・縄文時代晩期末～弥生時代前期の土器などが出土。**今後の調査によって、これまでよく分かっていない鳥取平野で米作りがはじまった頃の様子が明らかになることが期待される。**